

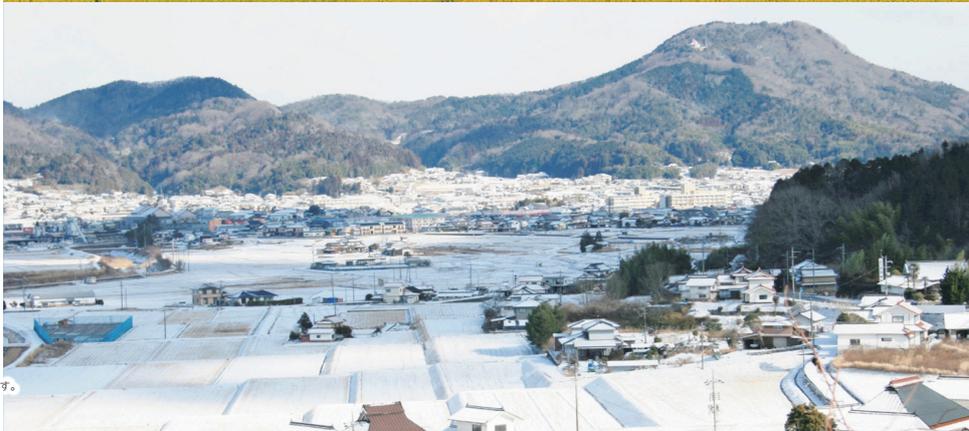
# 議 会 だ よ り せ ら

～ あなたと議会のコネクトブック ～

2026  
2.15  
No.84

守りたい風景があります

— つたえる・つなぐ・<sup>ひら</sup>拓く —



トピック P 2～3

議員が語る今年の抱負！

# 二〇二六年議員の抱負を

## 紹介します

アンケート内容  
 ①好きな言葉  
 ②趣味・特技  
 ③今年の抱負

世羅町議会議長  
 たかはし こうじ  
 高橋 公時 議長



大成龍神社にて

①『正義』・・・人の道にかなっていて正しいこと、又正しい意義を言う。人には様々な「正義」があり考え方が異なる、しかし自分の信念を貫いていきたいと思っています。

②現在まで31年間、生業としても携わってきた旅行の知識を自身年1回の家族旅行で計画実施すること。お店で感動した料理のレシピを聞き自分で作ってみること。

③改選から1年余りが過ぎ、新しい年を迎えるにあたり、議長としての責任の重さを改めて実感・認識するとともに、町の更なる発展のために努力して参りたいと決意を新たにすることでございます。引き続き、町の発展と安全・安心な町づくりに向けた施策の推進及び、議員としても資質の向上を図り、これまでも増して、町民の皆様が安心して生活していただけるよう、強い思いをもって職責を果たしていきたい。

世羅町議会副議長  
 たはら けんじ  
 田原 賢司 議員



股のぞき台

①未来は創るもの。ただ待つのではなく、自分の意志と行動で道を切り開いていく姿勢を思い出させてくれる。

②妻とのドライブ。車窓から流れる風景と会話を楽しんでおります。

③いつも議会の活動を見守ってくださり、本当にありがとうございます。今年も、副議長として皆さんの声にしっかり耳を傾け、暮らしが少しでも良くなるように力を尽くしていきます。気になることや「こうなったらいいな」という思いがあれば、どうぞ気軽にお聞かせください。

総務文教常任委員会委員長  
 まつお ようこ  
 松尾 陽子 議員



〇〇年前の私です

①みんなちがって みんないい (金子みすず) 誰ひとり取り残さないための視点として大事にしています。

②趣味：音楽鑑賞、特技：着付け。フォークソング部でギターやエレキベースを担当していました。

③「大衆とともに」という原点に立ち返って、直接お会いして皆様の声を聴くことに徹します。女性の視点で政策提案できるよう、議員力を磨いて頑張ります。

産業建設常任委員会委員長  
 かみもと つよし  
 上本 剛 議員



①松下幸之助さんの「ないものを嘆くな、あるものを活かせ」。前向きな気持ちを大切にしています。

②ランニング健康づくりを兼ねて、町を走りながら季節の移ろいを感じています。

③明るい未来へ挑戦の年。関係人口を増やし、観光や農業で人の流れを広げ、子育てと高齢者に寄り添う、笑顔あふれる元気な世羅町を町民の皆さんと一緒に作る一年とし、共に前向きに歩みます。

広報広聴常任委員会委員長  
むかいだに しんじ  
向谷 伸二 議員



①「<sup>いちくう</sup>一隅を照らす」  
「<sup>へいふつ</sup>平凡凡々」  
平凡で普通の日常の中に幸せや価値を見出す

②料理は好きです。朝食・弁当は妻が、私は主に夕食担当です。今日はハンバーグを作ってみました。

③地域の存続について、真剣に取り組む時期がきています。解決策が見えない現状を打破するためにも問題提起や、行政支援の在り方など施策の提案と、住民参加型のまちづくりに取り組めます。

監査委員  
ふじい しょうけん  
藤井 照憲 議員



①「<sup>ちようしんせいりよ</sup>澄心静慮」  
普段の心構え  
「<sup>いついかんし</sup>一貫之」  
議員になってからの姿勢

②農業。殺虫剤を使わない有機栽培米づくり、有機肥料による野菜づくり

③新年を迎えるに当たり、1、今年も議員活動を行う上で健康を第一に活動し、2、住民に寄り添う政策提案と住民の声を大切にす、3、家族との旅行を実施する。

かめだ としひろ  
亀田 知宏 議員



①人事を尽くして天命を待つ  
・温故知新  
・急がば回れ  
・義を見てせざるは勇なきなり

②スポーツ観戦（観賞）  
・農業全般

③人口減少、少子高齢化により、空き家や耕作放棄地の増加を肌で感じております。持続可能な地域運営を目指し、人口が減っても町民の幸福度が増していくような町政の実現に努めてまいります。

さくら ゆうき  
佐倉 悠希 議員



①「<sup>たりなさを</sup>足るを知る」  
物足りなさを感じても、現状のままで十分幸せだと気づくこと。

②将棋（四段）  
・サウナ  
・キャンプ  
・音楽  
・ベンチプレス（最大 100kg）

③フリーランスのITエンジニアとして、ネットショップの構築などにも携わっています。今年はDXやAI活用の推進に取り組んでいきたいと考えています。

ややま やすし  
矢山 靖 議員



①「<sup>きゃっかしようこ</sup>脚下照顧、雨だれ石を穿つ」。小さな声を大切に歩み続ける。

②妻と一緒に、草刈りやドライブ、サウナ、家でインスタを見ながら楽しく運動。

③今年も、みなさんの声をまっすぐ議会へ届け、住民本位の世羅町政と、暮らし・福祉・農業を大切にする町をめざして取り組めます。午年にあやかって、馬より元気に走りまわります。

むねしげ ひろゆき  
宗重 博之 議員



①手まめ、足まめ、耳まめ、目まめになれ。口まめは慎め。心美人に。愛郷崇祖。感謝。オルタナティブ。

②人と町を味わいながら、あちこち動き回ること。拠点をもたいで企画を撃ち出す、鉄砲玉プロデュース。

③議会では町の声に耳を澄まし、舞台では汗をかいて人を巻き込む。「大妻コタカ物語」上演プロジェクトを通して、世羅に“主役”を増やし、人が育ち、人を育てる環境をつくる。

ささき ひろみち  
佐々木 浩康 議員



①保守するための改革（エドモンド・バーク）  
一身独立して国家独立す（福沢諭吉）

②バス釣り（ルアー収集 リール収集 YouTube 配信）※時間が無くて釣りにほぼ行けません

③皆さまのご意見を、これまで以上に聞いていきたいです。本当に困っている、声なき声を、自分なりに解釈するための勉強と、それを行政に届けられるよう努力します。

ふくなが たかひろ  
福永 貴弘 議員



①「<sup>じゆくりよだんこう</sup>熟慮断行」  
です。深く考え実行するという意味です。慎重さと決断力を持って事に当たりたいです。

②サウナが好きです。忙しい毎日の癒しとなっています。リフレッシュには最適です。

③1年間の議員活動を通じて、「やるべき事、出来る事、難しい事」を体験しました。本年はその経験を更に深め、進化できる様に取組んで参ります。引き続き大好きな世羅町を全力で応援します。



# 議会報告会・意見交換会開催

## 11地区で議会報告会・意見交換会開催！

令和7年10月1日から11月15日にかけて、11地区(各自治センター)で議会報告会・意見交換会が開催されました。



多くの参加者と活発な意見交換を行った山福田地区



黒川地区



西大田地区

各地区とも多くの方が参加され、農地や道路管理、公共交通、地域医療、後継者不足など、多くの質問や課題があがり、活発な議論が交わされました。11会場で、合計163人の方にご参加いただきました。

質問に関する回答は、各自治センターにメールにて送付いたします。

### 議会だよりに対する意見

## 議会だよりのリニューアルに こんなご意見をいただきました！

- 写真が多くなったので全体的に読みやすくなった。
- カタカナ語などが分かりにくいので、易しい言葉遣いにしてほしい。
- 議員のコメントがついていてよかった。
- 一般質問の写真や図が小さくて見づらい。
- 追跡記事の掲載を企画してほしい。

多くのご意見ありがとうございました。今後も、読みやすく分かりやすい議会だよりとなるよう、より一層努力してまいります。



### 議会広報に ご意見を お寄せください

- 今号でよかった内容
- 取上げてほしい内容
- 議会広報に対する意見・感想

✉ [gikai@town.sera.hiroshima.jp](mailto:gikai@town.sera.hiroshima.jp)



### 「ほしはら山のがっこう」 浦田 愛 先生による講演会

12月6日 甲山自治センターにおいて、第56回人権教育研修会が開催されました。「柔軟な学習環境を求めて」と題し、NPO法人「ほしはら山のがっこう」浦田愛先生による講演会が開催されました。86人の方が参加され、子どもを取り巻く人権問題について学びました。

#### 子どもの人権について

不登校をめぐる問題について、自然体験を通して「ありのままの自分」を見つけることで自信に繋がる。居場所づくりや子どもの生きづらさをどうするかなど、学びの多い講演でした。

#### 浦田 愛先生のプロフィール

福岡県福岡市生まれ 三次市上田町在住 NPO法人「ほしはら山のがっこう」事務局長・ふるさと自然体験塾長



### 令和8年1月25日、甲山自治センターにおいて、「地域の力で世羅町の医療と介護を支える」と題し、地域医療を考える集いが2部構成で開催されました。

第1部では、「～在宅を支える～」と題し、医療機関や関係機関の代表者による取組発表が行われました。

第2部では、「皆さんの声に答えます」と題し、昨年の集いで寄せられた医療や介護に関する疑問や不安の声に対し、関係者6人が対策やアドバイスを行いました。解説が分かりやすく、皆さん熱心にメモをとっていました。

122人という多くの方が参加され、関心の高さが伺えました。

#### 広報コメント

今回の研修は、健康や介護に向き合うきっかけになったと思います。またこの研修が開催される機会がありましたら、ぜひ皆さんご参加ください。



## 有害鳥獣解体処理場(京丸)の 施設管理と運用状況を現地調査



- ①搬入に活用できない固定式チェーンブロック
- ②棚がなく、空間が有効活用されていない冷蔵庫
- ③車両の乗入れが禁止されている処理場

以前から、使い勝手が悪いなどの意見が寄せられていた解体処理場で、課題や改善点などの説明を利用者と担当課から受けた。

**Q** 軽トラックの乗入れ許可、クレーン設置、冷蔵庫への容易な搬入の環境整備、ダニ対策など、速やかな対応が必要では。

**A** 乗入れ禁止や搬入の不便さといった使い勝手の悪さは認識している。実施可能な改善策から早急に対応し、中長期的な施設改修は利用者と協議し進めていく。

## 世羅町社会福祉協議会(西上原)を現地視察



### 地域福祉の「重層的支援体制整備事業」※の現状と課題について

**Q** 重層的支援体制整備事業は、社会福祉協議会や障がい者サービス事業者などと連携した体制の構築が不可欠で、職員の専門性確保や継続性のある事業展開が必要となる。この事業を世羅町で実施していない理由は。

**A** 機関相談支援センターを町の直営で設置し、専門員を置くなど、国が要綱で細かい設置基準を設けており、専門人材を確保しての事業展開は難しい。町としては個別の事業で対応している。

※重層的支援体制整備事業…分野ごとに分かれていた支援をつなぎ、制度の狭間にある一人ひとりの困りごとを切れ目なく支えるための事業

まちの施策や現状をチエツク

### 産業建設 現地調査

## 当初計画と 現状について



令和7年度分工事区間を調査

Q 平成 28 年から事業を開始しているが、なぜこんなに時間がかかっているのか。

A 複数の道路事業が同時に進行しているため、全体の事業費の中で他の事業箇所と予算を按分しながら進めてきた。年間予算の中で 3000 ～ 5000 万円程度の予算措置で事業を進めてきたが、近年の物価高騰による工事費の上昇などが発生し、事業の終了に予定より時間がかかっている。

現在の事業完了予定年度は令和 10 年度を見込んでおり、残り事業延長は約 500 m である。予算などの状況により完了年度が延びる可能性がある。

### 総務文教 事務調査

## 保育所運営の今後について

保育施設への入所状況は、現状いずれの施設も定員内である。出生数、児童数とも減少のスピードが速く、特に町立保育所への入所児童数は減少が著しい。いお保育所では、年長児が小学校に入学すると 9 人になる。単に人数のみで判断するものではないが、施設の老朽化、保育士の適正配置、調理員の確保、保護者のニーズ、子どもの状況、認定こども園との調整など総合的に考え、方向性を見いだす必要があると考える。入所児童が確定した後に、具体的な検討を進めたいとの説明があった。

委員から、検討する際には、保護者や地域住民に十分な説明をすべきとの意見が出された。

### 総務文教 事務調査

## 国勢調査の調査員のなり手不足とその対応について

調査員は、高齢化の進展、事務負担、世帯との接触の難しさなどにより、全国的になり手不足が深刻化している。職員が、昨年の調査員に電話で依頼をしたが、100 人弱に断られた。町職員や自治センターにも声かけをして紹介してもらおうなど、なんとか確保することができた。令和 7 年度は、一般調査区 170 地区・131 人の調査員で、その内訳は、前回は依頼した調査員が 49 人、新規の調査員が 52 人、町職員が 30 人。

Q 対面の調査は、実態把握に適してはいるが時代にそぐわないと感じる。住民に対する周知や対応方法など、調査員への支援も必要ではないか。

A 調査期間中も、調査員から対応の相談が何件もあった。今後、考えていく必要がある。



徳光 義昭さん (本郷)

## 令和 7 年 秋の地方自治功労叙勲 旭日双光章

世羅町本郷在住の徳光義昭さんが旭日双光章を受賞されました。

平成 11 年に世羅町議会議員に当選され、7 期 (25 年) にわたり在職されました。この間、議長、県町議会議長会会長、全国議長会監事を歴任され、地方自治の発展に貢献されました。

### 主な表彰経歴

平成 27 年 2 月

全国町村議会議長会表彰

令和 2 年 2 月

広島県町議会議長会自治功労者表彰

令和 2 年 11 月

全国町村議会議長会監事感謝状



令和7年第4回定例会は12月4日から16日まで開かれました。今定例会では、米価上昇に伴う歳入の補正予算や特別職の給与・議員報酬の改定、鳥獣被害対策に関する請願など、重要な議案を慎重に審議・決定しました。

**1 議案第81号 世羅町特別職の職員で常勤のもの  
の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例**

賛成多数で  
可決

**改正の背景**

町長・副町長・教育長の給与月額、合併以来一度も改定されていませんでした。近年の物価高や人件費上昇に伴い、第三者機関である世羅町特別職報酬等審議会の答申を経て、約20年ぶりに改定を決定しました。

**改正の基準**

町長は全国類似団体（県内8町の平均を基準とした場合、増額幅が大きくなるため）、副町長・教育長は県内8町の平均を基準としています。

**改正の内容**

	改正前（月額）	改正後（月額）
町長	700,000円	751,000円
副町長	595,000円	652,000円
教育長	548,000円	611,000円

施行日：令和8年4月1日

**2 発議第1号 世羅町議会の議員の議員報酬及び  
費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例**

賛成多数で  
可決

**改正の背景**

全国的な議員のなり手不足や若年層の立候補者確保が課題となる中、県内他町でも報酬の引き上げが進んでおり、本町は県内最低額になっていました。議員改選前から

見直しを検討してきましたが、この度、世羅町特別職報酬等審議会の答申を経て、改定を決定しました。

**改正の基準**

県内8町の平均を基準としています。

**改正の内容**

	改正前（月額）	改正後（月額）
議長	314,000円	330,000円
副議長	258,000円	275,000円
常任委員長	246,000円	264,000円
議会運営委員長	246,000円	264,000円
議員	241,000円	259,000円

施行日：令和8年4月1日

**3 請願 鳥獣被害対策に係る補助金・報償金の拡充について**  
請願提出者 世羅町安田 世羅猟友会 会長 前 環 外17人  
紹介議員 矢山 靖 議員、亀田 知宏 議員

賛成全員で  
採択

**請願の趣旨**

地域の農作物被害を防ぐため、日々危険を伴う捕獲活動に取り組んでいます。しかしながら、時間的・経済的負担が積み重なり、鳥獣被害対策を実施するうえで、大きな課題となっています。鳥獣被害対策を持続可能なものとするため、捕獲活動への報償金などの充実を求めます。

**委員の議論**

委員からは、「経費の増大や無償作業の負担が重く、担い手も高齢化しており、このままでは鳥獣被害対策が維持できない状況なので、町として請願書の趣旨を鑑み、しっかり応援すべき」などの意見が出されました。

委員会としての審議結果 賛成全員により「採択すべきもの」

議案第82号 令和7年度世羅町一般会計補正予算（第4号）  
歳入：町税（町民税）

町民税を3000万円増額しました。

主な要因としては、米価の上昇に伴う農業所得の増加などにより、当初予算を上回る税収が見込まれるためです。

補正額 3000万円



議案の審議結果 令和7年 第4回世羅町議会定例会（令和7年12月）

議案番号	提出議案	採決	亀田	佐倉	矢山	宗重	佐木	福永	向上	松本	藤井	田原
<b>令和7年度補正予算</b>		3月議会で当初予算が成立した後、国の補助金等の変動や、緊急・やむを得ない場合に予算の追加や更正を行うこと										
議案第82号	令和7年度一般会計補正予算（第4号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第83号	令和7年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第84号	令和7年度後期高齢者医療制度特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第85号	令和7年度介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第86号	令和7年度介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第87号	令和7年度公共下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第88号	令和7年度一般会計補正予算（第5号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>議員からの発議</b>		議員が議会で議案を提出し、審議を求めるとのこと										
発議第1号	世羅町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
<b>報告・条例の一部改正・契約・その他</b>												
報告第9号	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	報告										
報告第10号	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	報告										
議案第69号	工事請負契約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
議案第70号	世羅町第3次長期総合計画基本構想の策定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	世羅町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号	世羅町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	世羅町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第74号	世羅町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号	世羅町フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	世羅町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第77号	世羅町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第78号	世羅町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第79号	世羅町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第80号	世羅町農業委員会の委員並びに農地利用最適化推進委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号	世羅町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
陳情第17号	世羅町立小中学校体育館空調導入に関わる陳情書	不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●
陳情第18号	完全なジェンダー平等社会の実現を旨とし女性活躍応援基金（仮称）創設を求める陳情書	不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●
陳情第19号	地域住民の医療を受ける権利を保障するために医療機関の維持存続への支援を求める陳情書	不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●
陳情第20号	介護保険制度の抜本改善、大幅な処遇改善を求める陳情書	不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●
陳情第21号	学校のすべての教室および体育館へのエアコンの設置とトイレの改修を求める陳情書	不採択	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●
陳情第22号	学校給食費の無償化と給食に安心・安全な食材の使用を求める陳情書	不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●
陳情第23号	高齢難聴者の補聴器購入助成への公的な補助制度を求める陳情書	不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●
陳情第24号	消費税率5%以下への引き下げと消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）の廃止等を求める陳情書	不採択	●	●	○	●	○	○	●	●	●	●
陳情第25号	生活保護基準の引き下げ違憲訴訟の最高裁判決を踏まえ、速やかな対応を求める陳情書	不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●
陳情第26号	物価上昇に見合う年金引き上げを求める要請	不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●
陳情第27号	日本政府に「核兵器禁止条約」への参加を求めるための陳情書	不採択	●	●	○	●	●	○	●	●	●	●
陳情第28号	米国の核使用に日本が関与するような議論を行わないことを求める陳情書	不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●
請願第29号	鳥獣被害対策に係る補助金・報償金の拡充について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対 欠：欠席



# 一般質問

## 町政を問う

### 11議員が質問しました

第4回定例会の12月4日・5日に一般質問を行った11議員の質問内容を紹介します。

#### 一般質問とは？

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて報告・説明を求め、疑問点を質したり政策を提案することを一般質問といいます。

質問時間は1人30分以内で、答弁時間は含みません。

動画配信は2次元コードを読み取って下さい。



※視聴環境により、通信料がかかる場合があります。

### 体育館の空調設備

むかいだに しんじ  
向谷 伸二 議員



#### Q 学校体育館に空調設備を

#### A 今後の方針を定め準備を進める

**向 谷** 夏の猛暑が常態化し、子どもたちの屋外及び体育館の授業では熱中症のリスクが高まっている。体育館は災害時の緊急避難場所にもなっているが、被災者は猛暑や寒さの中で過ごさなければならず、二次被害のリスクも高まる。国も交付金を設けて積極的に体育館への空調設備導入を促す状況にある。はじめに、児童生徒の屋外及び体育館での活動状況を伺う。

**教育長** 国や県の熱中症対策指針に基づき、「暑さ指数」による基準を設けている。暑さ指数が基準値を超える場合は速やかに活動を中止し、涼しい場所での休憩や水分補給を徹底している。

また、屋外での体育授業や部活動を中止・短縮した場合、時間割を入れ替えるなど、活動時間の確保に努めている。

**向 谷** 体育館への空調設備設置の考えは。

**学校教育課長** 体育館の広さや構造上の問題で、設置に係る初期費用やランニングコストが相当な規模となる。また、学校再編や体育館の老朽化にも直面している。検討に向けた内部での研究を始めているが、今後の方針を定めた後、国の補助金活用も含めて準備を進める。

**向 谷** 停電時を考えて、電源自立型ガスヒートポンプの導入が進んでいるが、考えは。

**学校教育課長** ガス電源は、比較的災害に強いと聞いているが、受電設備の大きさにより電気式との併用もあり、更に研究を重ねる。

**向 谷** 早急に今後の方針を定めるべきでは。

**教育長** 学校再編の事だけでなく、避難場所としての位置づけもあり、できるだけ早く計画を立てるよう考える。



体育館における空調設備のイメージ図

#### 議員コメント

猛暑が常態化している現状では待ったなし。子どもの命を守るために大人ができる事を、早急に進めていただきたい。

## 食品ロス削減

まつお ようこ  
松尾 陽子 議員



### Q 食品ロス削減への取組みは

#### A フードバンクの活性化と農産物の有効活用に取り組む

**松尾** 家庭の未使用食品を活用するフードドライブや、まだ食べられるにも関わらず廃棄されてしまう食品を、子ども食堂や福祉施設へ寄贈するフードバンクの活用状況は。

**福祉課長** フードバンク事業は、令和2年から社会福祉協議会で実施されている。町では、保健福祉センター内へボックスを設け、食品の提供を受け付けている。子ども食堂は、令和5年から町内企業や飲食店、世羅高校と共同して開催されている。

今後も、フードバンク事業や子ども食堂の充実が図られるよう、民間企業へのアプローチを含め、関係機関と連携して取組みたい。

**松尾** 保健福祉センター以外への回収ボックス設置は。

**福祉課長** 現在は、保健福祉センターのみの設置である。様々な公共施設への設置は、今後検討していきたい。

**松尾** フードバンクに寄付できるものは。

**福祉課長** 未開封で賞味期限が2か月以上あるもので、常温保存が可能なもの。生鮮食品は受付けていない。

**松尾** 規格外野菜の積極的な出荷や、出荷前に廃棄される地域食材の活用は。

**商工観光課長** 町では、早くから素材を活かして漬物やジュースなどに加工し、商品化している。規格外の農産物は、産直市で販売し、食品ロス削減に貢献している。

環境負荷軽減のため、農産物が有効活用されるよう、生産者と事業者の連携に取り組みたい。

### Q 手話言語条例制定への取組みは

#### A 本年度中の制定をめざし取組む

**松尾** 講演会などでの要約筆記は増えたが、手話通訳は少ないのが現状である。手話の普及・啓発をするために、手話言語条例が必要と考えるが、取組みは。

**福祉課長** 本年度中の制定をめざして、関係団体とヒアリングを進めている。

#### 議員コメント

フードロスの削減は、ごみの減量や脱温暖化につながる。作り過ぎない、買い過ぎない、フードバンクに寄付するなどの取組みをみんなで。

## 人事施策

さくら ゆうき  
佐倉 悠希 議員



### Q 職員の意向確認の定期実施は

#### A 今年度中に制度を固め来年度の実施を目指す

**佐倉** 令和7年3月定例会一般質問において、職員が活躍できる環境を構築するため、5つの人事施策を提案した。

①管理職のマネジメント意識向上

管理職には、職員が活躍できる環境づくりを重視するよう求めた。進捗は。

**町長** 管理職としてより良い環境づくりや、心得・立ち振る舞いを身につけるために、管理職研修への参加、また必要に応じて、副町長との面談も実施している。

**佐倉** ②職員の意向確認の定期実施

希望部署、昇進・降格希望、志向性などを定期的に確認する仕組みづくりは。

**総務課長** 労使合意のもと、意識調査を実施したいと考えている。

県内他市町の事例も参考にし、今年度中に制度を固め、来年度から実施したい。

**佐倉** ③町長とのランチ会の実施

意向確認と併せ、希望制で町長と職員が直接交流できる機会を設けてはどうか。

**町長** 新規採用職員とのランチ会は過去に実施していた。

今後は希望制で、少人数のグループ形式など柔軟な形での実施を検討したい。

**佐倉** ④他自治体や独自の人事施策の調査・研究

他自治体の先進事例を踏まえた独自施策の検討状況は。

**総務課長** 現状、町独自の人事施策はない。他自治体の取組みを調査している。

**佐倉** ⑤人事施策の明文化と周知

これらの施策を明文化し、職員に周知することについてはどうか。

**総務課長** 世羅町人材育成基本方針は平成26年度以降改定されていない。現状分析を踏まえ、早期に改定し、実効性と透明性の確保に努めたい。

#### 議員コメント

「好きこそものの上手なれ」

好奇心をもって仕事に取り組むことでパフォーマンスは高まり、結果として専門性と幅広さを兼ね備えた職員につながる可能性がある。



## カスハラ対策

かみもと つよし  
上本 剛 議員

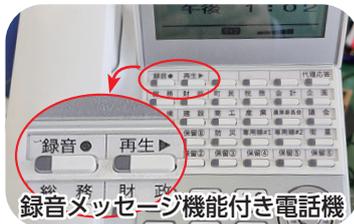


### Q 職員を守る カスタマーハラスメント対策を

### A 体制整備とマニュアル策定に取り組む

**上本** 録音メッセージ機能付き電話機は、現在部分的な導入に留まっている。職員の心理的負担軽減やカスハラ抑止の観点から、全庁導入の考えは。

**町長** 職員の安全確保や心理的負担の軽減は、極めて重要な行政課題である。電話機の更新時期を迎える部署から順次、録音機能付き電話機の整備を進める。



**上本** 長時間拘束や暴言などに対する「対応目安時間」の、具体的な基準策定は。

**総務課長** 実態調査と他自治体の事例を踏まえ、職員のカスハラ対応マニュアルを作成する予定である。労使で意見交換を行いながら、その対応策の一つとして、「対応目安時間」の設定を進めていく方針である。

**上本** マニュアルに、目安時間を超えた場合の組織的な介入や、具体的な対応手順を明記する考えは。

**総務課長** 今後検証と協議を行い、可能であればマニュアルに反映していく。職員が事前に対応時間を示すなど、個々の職員による対応も必要となる。

**上本** 職員を守る姿勢を外部に示すことは、職員の離職防止と採用強化に繋がる。いつ、どのような手順で総合的なカスハラ対策を実行するのか。

**総務課長** カスハラが、職員の安全や精神的負担、離職や採用難につながる重要課題と認識している。「カスハラ対策基本方針」を策定して公表し、町として職員を守る姿勢を町民や求職者に示す。令和7年度内に実態調査と方針策定、令和8年度前半には体制整備とマニュアル作成まで完了させる。

**議員コメント** カスハラは、人材確保の困難化や離職の増加、組織力や住民サービスの低下など、町の大きな損失となる問題である。早急に効果的な対策を。

## 債権管理

たはら けんじ  
田原 賢司 議員



### Q 債権管理体制の取組みのその後は

### A 条例制定に向け着実に進める

**田原** 前回質問から2年経過したが、債権管理体制強化や債権管理条例制定の進捗状況は。

**町長** 未収金の適正管理は、財政健全化と公平性の観点から極めて重要と認識している。担当課ごとの取組みに加え、統一的なルールが必要である。条例制定に向け着実に進める。

**田原** 過去の失敗を共有し、私債権の厳格な管理には、裏付けとなる債権管理条例の制定が不可欠である。情報一元化と専門性向上を実現するため、迅速な対応を。

**副町長** 将来二度と繰り返さないための改善点として受け止め、条例制定に向け、引き続き各課と連携して進める。

### Q 産地づくり支援の取組み状況は

### A 地域状況に応じた支援体制を強化

**田原** 田園風景の維持や、景観整備、地域文化の継承、観光資源の磨き上げなどを通じて、農村の魅力再認識・発信する取組みは。

**産業振興課長** 人口減少や高齢化で、景観維持の労力確保が課題となっている。今後は、国や県の事業を活用し、省力化や共同作業の促進を支援し、農村の魅力発信、新たな担い手の呼び込みにも取組みたい。

**田原** 人口減少が進む中、省力化を進めるため、バックホウのアタッチメント活用など、従来の作業方法を転換する必要があるのでは。

**産業振興課長** スマート農業に関連する事業や、バックホウなどの大型機械購入補助は、今後検討していく。



**議員コメント** 集落の環境維持について、人口減少に対応した施策を期待。地域全体での意識向上が必要のため、自治体レベルでの啓発が重要。各部署の連携と事例を活用した情報提供が鍵では。

## 予防医療

さ さ き ひろみち  
佐々木 浩康 議員



### Q コロナワクチン接種補助金の見直しは

#### A 交付税措置があるため 現行のままとしたい

**佐々木** コロナワクチン接種が、高齢者の定期接種になってから直近までの町内の接種状況は。

**町長** 令和6年度に1277人の接種があり、接種率は約20%。令和7年度の定期接種も10月から開始し、10月末時点では184人の接種があった。

**佐々木** 思った以上に接種者が多いが、高齢者施設などの入所者に対しても接種されたのか。

**健康保険課長** 医療機関が入っている施設では、インフルエンザと同じように、新型コロナウイルスワクチンを接種されているところもある。

**佐々木** 専門家による「ワクチン接種には感染を防ぐ効果はあまりない」との発言もあった。定期接種補助の状況は。

**健康保険課長** 町は1万700円の負担をしている。自己負担額は4600円。

**佐々木** 1万700円の補助金を見直し、他の予算に回す考えは。

**健康保険課長** 自己負担は交付税措置をされている部分があり、予算はこのままでいきたい。

### Q 胃がん検診方法の見直しは

#### A 国推奨の検査を自身で選択していただく

**佐々木** 定期健診を受けたいが、いくつか納得できない検診内容がある。

バリウム胃がん検診は、胸部レントゲンよりも大幅に被ばく量が多い。胃カメラを推奨するように要望する。

**健康保険課長** 胃カメラは、カメラ挿入による出血などのリスクや費用が高い。町で実施をしている総合健診は、検診バスでのバリウム検査となるが、その他医療機関で実施する検診では、胃カメラが可能などところも多くある。どちらの検査も国が推奨している。それぞれのメリット、デメリットを検討し、ご自身に合った検診を受けていただきたい。

#### 議員コメント

mRNA ワクチンが日本だけ継続していることに憤りを感じる。治験大国ニッポン。降圧剤、コレステロールの薬、巨大マーケットに群がる外資系製薬会社。

## 新しい教育のデザイン

むねしげ ひろゆき  
宗重 博之 議員



### Q 学校教育の現状を見直す覚悟は

#### A ニーズに合った 公教育の役割を果たす

**宗重** 学校現場では多くの課題があるが、最優先で取り組む課題は何か。

**教育長** 教員の人材確保と育成に、常に重点を置いている。児童生徒の課題には優先順位を設けず、学校と一体で改善に取り組んでいる。

**宗重** 特別な支援を必要とする児童生徒の現状は。

**学校教育課長** 特別支援学級には111人。全体の約12%を占めている。

**宗重** インクルーシブ教育\*をどう考えているか。

**学校教育課長** 学級区分は必要だが、排除や分離とまらないよう、共生というねらいを持って編成している。

**宗重** 教師中心の一斉授業に課題意識はあるのか。

**学校教育課長** 教育委員会、学校、教師個人レベルの全てにおいて課題意識を持っており、現場で試行錯誤を重ねている。

**宗重** 新たな教育デザインを構想できないか。

**教育長** 学習指導要領に基づいて進めることが前提である。教員の経験や技術の違いはあるが、目指す方向は一つである。

**宗重** 個別最適な学びと協働的な学びは、どう両立しているのか。

**学校教育課長** 「授業力向上」をキーワードに、「世羅町学びの変革推進協議会」を軸に取り組んでいる。

**宗重** 子どもの幸福を中心に据えた、新しい学校教育モデルの構想は。

**学校教育課長** 一人一人に合った学びと環境を整え、ICTや少人数指導を組み合わせることで、学びを深める。地域と共に子どもを育てることで、「子どもたちの幸福」を実現していく。

\*インクルーシブ教育…障がいや背景の違いを超え、すべての子どもが共に学ぶことを目指す教育理念

#### 議員コメント

私は「子どもは主役だ」と問い、行政は「全員を支える責任がある」と応じた。同じ舞台、同じ目的。だが、個々への照明の当て方が違う。暗がりにいる誰かに、私たちは本当に気づいているのか。



## 教育に余白

ふじい しょうけん  
藤井 照憲 議員



### Q 子どもの未来に ゆとりと創造の時間を

#### A ICT 活用で教育に余白をつくり 子どもの創造力を育成

**藤井** 「誰一人取り残さない」というGIGAスクール構想\*の5年経過の成果と課題は。

**教育長** タブレット端末を活用することによって、個別最適な学びと協働的な学びの両立が進んでいる。学校や学級による端末利用度の差を継続課題として取組み、誰一人取り残さない教育の実現を推進する。

**藤井** 家庭でのタブレット端末の活用は。

**学校教育課長** 多くの学校では、タブレット端末を家庭に持ち帰り、家庭での学習に活用している。授業だけでなく、自らのペースで学び直したり、予習を通じて理解を深めたりすることに繋がっている。

**藤井** 教職員は、児童生徒の小さな変化を敏感に感じ取るためのコミュニケーションづくりが、不登校などの問題行動への対処に繋がると考える。どの様な工夫と仕組みが必要か。

**教育長** 強化策として、1点目は教師の授業力の向上。分かる・分かった・できたという授業でなければならない。

2点目は教職員の人材育成。経験の浅い職員が多く、子どものちょっとした様子に気付く力や初期対応力の不足が、不登校につながることもある。不登校の未然防止は、各校の管理職を中心に、計画的にその都度指導する体制を組んでいる。

3点目は居場所づくり。不登校に特化したスペシャリストルームを3校設置し、大きな効果を上げている。不登校の未然防止や、不登校になった時の適切な対応を因るため、高野塾や民間のフリースペースを居場所として活用している。

\* GIGA スクール構想…児童生徒1人1台端末と高速通信環境を整え、個別最適で協働的な学びを実現する国の教育改革構想

#### 議員コメント

児童生徒は、1人1台のタブレット端末を活用する中で学びの質を高め、教師は誰一人取り残さない柔軟な指導に努めるなど、点数だけでは計り知れない力を育てて頂きたい。

## 防犯対策

ふくなが たかひろ  
福永 貴弘 議員



### Q 町の防犯対策強化を

#### A 犯罪が起きない まちづくりに努めていく

**福永** 令和7年10月に、町内で大規模な不法投棄が発見されている。町が把握する不法投棄の直近の年間発生件数は。

**町民課長** 令和6年度は1件、令和7年度は11月末時点で7件となっている。

**福永** 不法投棄を発見した際の住民の取るべき行動や、不法投棄をさせないための対処方法は。

**町民課長** 発見した場合は、速やかに警察への通報をお願いしている。土地の管理者は、草刈や枝払いなどにより見通しを良くし、囲いなどを設置して容易に進入できないようにすることが重要である。

町では、「不法投棄防止看板」を貸与しているので活用していただきたい。



道路から見えない場所で見つかった大量の不法投棄

**福永** 犯罪の抑止力向上のため、自治会・振興区・各組合・商店街などで運用する、防犯カメラ設置の補助制度創設の考えは。

**総務課長** 防犯カメラの映像は、防犯上極めて重要な資料であると認識している。一方、個人情報保護の観点、映像データの管理など、地域の責任で対応するには多くの課題がある。

**町長** 町では13台の防犯カメラを設置してきた。交通網の整備により利便性が向上する一方、人や車の往来が増え、犯罪や事故の確率も高まっている。防犯意識を高めるために、様々な施策が必要と考えている。犯罪が起きないまちづくりに努めていく。

#### 議員コメント

町の犯罪は増加傾向です。住み良い町には人が集まります。防犯意識の醸成とともに、率先して防犯対策を行っていただきたいと切に願います。

## 緊急銃猟

やま やし  
矢山 靖 議員



### Q クマが出た時の対応は

#### A 関係機関と連携し状況に応じ対応する

**矢山** 出動要請の判断基準は。

**産業振興課長** 町独自の判断基準はない。県が定めたクマレンジャー事業実施要領に基づいて対応する。

**矢山** 出没通報が町に入った場合、体制づくりは万全か。

**産業振興課長** 「緊急連絡体制図」に基づき対応する。目撃情報があった場合、警察署などの関係機関へ情報共有をする。また、住民には無線放送をしているが、場合により広報車や公式LINEでの情報発信も検討する。

**学校教育課長** 産業振興課から教育委員会を經由し、町内全ての学校に速やかに情報を伝達する。保護者に対しては、学校から一斉メールで連絡し、注意喚起する。

**矢山** 緊急銃猟基本方針とマニュアル整備は。

**産業振興課長** 現時点では、町としての基本方針やマニュアルは作成していない。今後、県から示されるマニュアルを踏まえ、整備について検討していく。

現場責任者は町長の権限を受けた担当課長とする。また、安全確保や避難誘導・避難指示は、警察及び担当課が担うことを想定している。クマレンジャーとの連携は、現在のところ情報共有や連絡網の作成にとどまっている。

交通規制などは、警察をはじめとする関係機関と協議・検討を進めている。

**町長** 緊急の場合は、私が先頭に立ってやっていこうと思っている。



#### 議員コメント

明日にでも緊急銃猟が発生するかもしれませんが、早急の方針やマニュアルなどを策定し、安全教育や合同訓練を実施し、住民の安心・安全確保に努めていただきたい。

## 町の活性化

かめだ としひろ  
亀田 知宏 議員



### Q トップセールスの取組みは

#### A 訪問活動により雇用創出を目指す

**亀田** トップセールスの実績と取組みは。

**町長** バイオマス産業都市構想を策定するとともに、バイオ燃料会社やホテルの誘致、駅伝スポンサーへの訪問、リレーマラソンや中国女子駅伝の誘致をしている。さらに、大手流通企業と協定を締結し、農作物のブランド化を推進している。観光客誘致に向けて日本政府観光局を訪問し、外国大使との懇談などにも取り組んでいる。

**亀田** 今後の取組みは。

**町長** トップセールスは大きな効果を生むと捉えており、引き続き積極的に取組む。

**亀田** 町の宣伝・プロモーション活動も、

大事なトップセールスだと思う。SNSの利活用はプロモーション活動で重要になっている。町のアピールと活性化のためにも更なる活用の考えは。

**町長** 掲載内容によって誤解を招いたこともあり、個人での発信は偏った表現になりかねないので控えている。挑戦したいという思いはあるので、発信の仕方を研究したい。

**亀田** 現在、広報せらやHPなどで町長の考えは掲載されているが、文字だけではなく映像も活用した方が、ビジョンやスタンス、施策もより分かりやすく伝わると考える。ケーブルテレビで町長の番組を作って発信する考えは。

**町長** 紙面以外にも、移動町長室で対面での説明を行っているが、多くの方に周知できていない。以前そのような提案はあったが現状では進んでない。前向きに考えていきたい。



#### 議員コメント

町の活性化のためにも、首長の行動や発信は重要なものと考えます。民間はもちろんのこと、国・県などにもセールスを行い、より良いまちづくりに尽力していただきたい。

# 世羅西地域で 移動型医療サービスの 提供が開始されました!

地域に医療機関がなくなった世羅西地域で、世羅中央病院の巡回診療車による移動型医療サービス事業が、令和7年12月5日から開始されました。

開業医の閉院により、不安や不便を感じた多くの地域の方々から、医療体制の整備と維持を求める要望書が、議会へ提出されていました。議会においても、医療体制を整え維持していくことが必要と考え、要望書を採用し、町に早期の医療体制整備を求めてきたところです。

その後、町、世羅中央病院、関係機関で協議検討が行われ、通院が難しい方にも、身近な場所で診療を受けていただけるよう、巡回診療車による移動型医療サービス事業が開始されました。

- 詳しいお問い合わせ (健康保険課)

☎0847-25-0134

- ご予約 (世羅中央病院 あんしんサポートセンター)

☎0847-22-1127

ぜひご利用ください。



やささだるマンとせら坊・せらら



私たち病院スタッフが医療をお届けします



ベッドや薬用冷蔵庫など充実した装備の車内

## 議会を 傍聴 しませんか



役場2階  
議場前にて  
傍聴人受付票に  
氏名などを記入



受付票の提出



議場へ入場  
※入退場自由/定員28人  
※車いす用リフトあります

## 3月議会

## 令和8年第1回定例会(予定) ※日程は変更になる場合があります

日	月	火	水	木	金	土
3/1	2	3	4	5 本会議 (議案審議)	6 予備日	7
8	9 本会議 (一般質問)	10 本会議 (一般質問)	11 総務文教委員会	12 産業建設委員会	13 議会改革委員会 議会広報広聴委員会	14
15	16 予算審査	17 予算審査	18 予算審査	19 予備日	20 春分の日	21
22	23 本会議 (最終日)	24	※開会は午前9時からの予定です。			

### 議会広報広聴常任委員会

委員長 向谷 伸二 副委員長 松尾 陽子  
委員 亀田 知宏・佐倉 悠希・矢山 靖・佐々木浩康

### 世羅町議会ホームページ

右の2次元コードを読み取ってアクセスしてください

